

国道13号古館自歩道整備完成から約1年が経過して

- ・夏冬ともに8割以上の住民が歩道の安全性を評価！
- ・横断歩道橋の統廃合により児童の安全を確保！

平成20年3月に完成供用した
国道13号古館自歩道整備効果について（約1年後）

《 国道13号沿線住民アンケート結果 》

①歩道通行時の安全性の変化

- ・歩道の拡幅及びバリアフリー化により「他の歩行者や自転車と衝突の危険性が減少」等歩道を通行する際の**安全性向上を評価する回答が約9割**。
- ・さらに冬期においても歩道無散水消雪施設整備により「路面凍結による転倒の危険性が無くなった」等、**歩道無雪化による安全性向上を評価する回答が約8割**

②道路横断時快適性の変化

- ・前囲横断歩道橋の撤去により「交差点部の見通しがよくなり安全確認がしやすくなった」等、道路を横断する際の**快適性向上を評価する回答が約9割**。

《 前囲横断歩道橋を考える懇談会より 》

①湯沢東小学校児童通学時の安全を確保

- ・湯沢東小学校前の交差点部は国道交差道路にしか横断歩道橋がないため、国道13号の横断は横断歩道を利用していました。交差する県道にあった横断歩道橋に国道13号を横断する歩道橋を新設結合したため、一度に国道～交差道路を横断できるようになって**車との接触の危険がなくなり安心**できています。

【添付資料】 ○古館自歩道事業整備効果概要
※9月に湯沢市生涯学習センターでパネル展示を予定しております。

記者発表先：横手記者会、秋田魁新報社湯沢支局

問い合わせ先 国土交通省 湯沢河川国道事務所 湯沢市関口字上寺沢64-2
道路管理課長 酒井 宏 (Tel 0183-73-5350)
<http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

古館自歩道整備事業 整備効果

事業期間：H15～H19年度 供用：H20.3

背景 ～国道13号古館地区の状況～

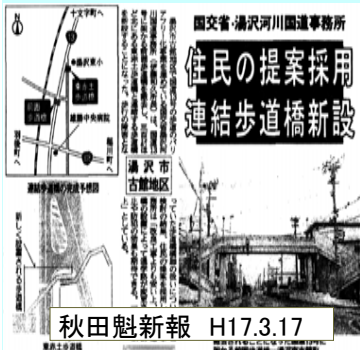


- 多くの通学児童が利用する区間
- 冬期は歩道上の積雪や歩道脇の堆雪によって通行に支障
- 前囲横断歩道橋の柱及び階段が通行時に支障

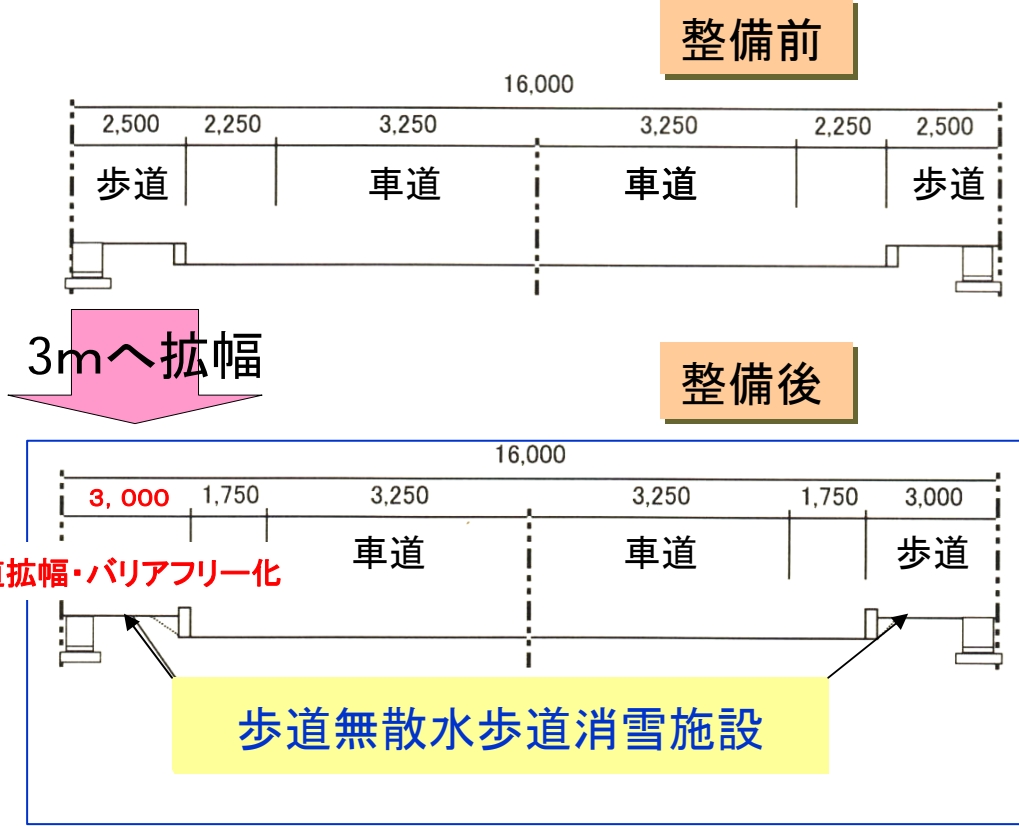
「前囲横断歩道橋を考える懇談会」による横断歩道橋取り扱いの検討

- ◆歩道の通行上、車の走行安全上からは歩道橋の撤去が望ましい
- ◆一方で、通学児童は歩道橋によって安心して通学できる

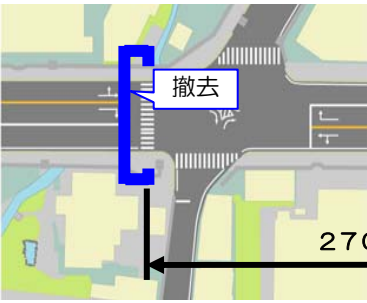
上記の課題を解決するために学校関係者、PTA、町内会、警察関係者による懇談会を開催し、柱及び階段が歩道通行時に支障となっている点、通学児童の安全確保等について意見交換を行い方針を決定



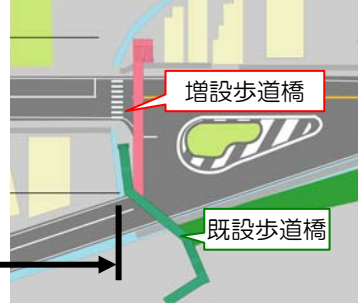
- ## 整備の内容
- 歩道の拡幅、段差解消
 - 無散水消雪歩道の整備
 - 前囲横断歩道橋撤去
 - 東赤土横断歩道橋国道横断部増設



前囲横断歩道橋は撤去



東赤土横断歩道橋へ集約



改良前 夏期



改良前 冬期



改良後 夏期



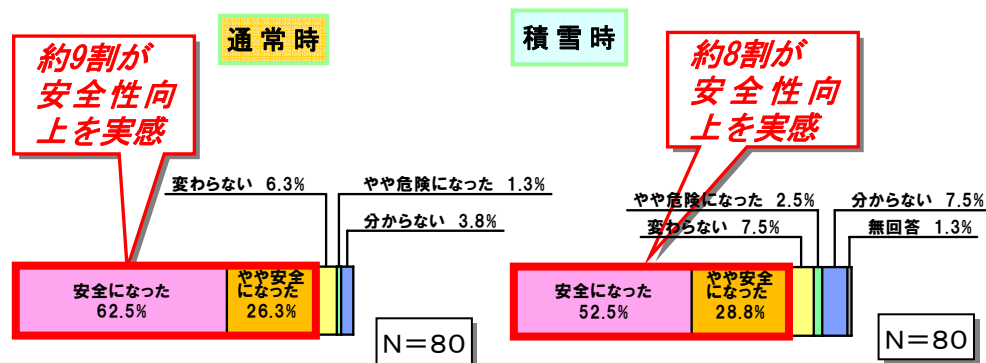
改良後 冬期



古館自歩道 整備効果

① 歩道通行時安全性の変化

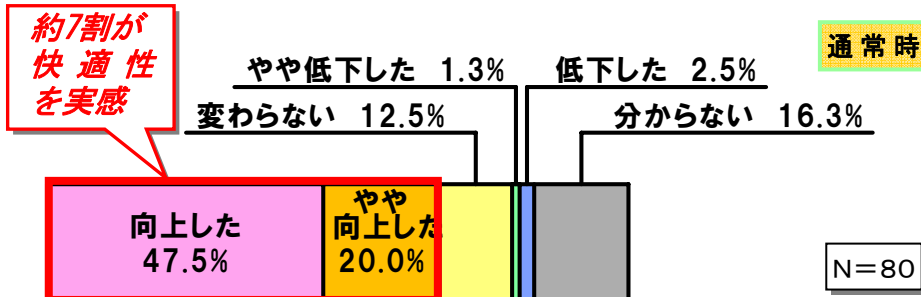
■「古館自歩道バリアフリー化」が行われる前と比べて整備後の今の現状について、どのように感じているか、「歩道内を通る時の安全性について」例えば歩いている時又は自転車で通行時に他の歩行者や自転車と衝突の危険性が減って安全になったか。5段階評価で、お聞きしました



歩道整備前後における「歩道通行時の安全性」の変化(対象:沿線地域住民)

② 道路横断時快適性の変化 (横断歩道橋の撤去・統合による影響)

■「古館自歩道バリアフリー化」が行われる前と比べて整備後の今の現状について、どのように感じているか、「横断歩道橋や横断歩道を使って道路を横断する時の快適性について」例えば横断歩道を利用するとき昇り降りが楽になり快適にとおれるようになったか、横断歩道をゆったりと気持ちよく渡ることができるようになったか。5段階評価で、お聞きしました



歩道整備前後における「道路横断時の快適性」の変化(対象:沿道地域住民)

③ 冬期地域生活の変化

【通学路利用児童の声 から】

■路面が凍結して滑ることが無く、歩道の雪も少なくなって通学しやすい。

【沿道企業等の声 から】

■冬期間、店の前の出入りが楽になった。

■歩道が広がり、無散水消雪歩道となってからは、大変歩道が歩きやすくなり、車道を歩くことも無くなった。

④ 通学路としての安全性

【通学路利用児童の声 から】

■歩道の幅が広がったため、通学のときに他の歩行者や自転車とぶつかったりすることが無くなったので良い。

【地域住民の声 から】

■湯沢東小学校の子供達が登下校時に安心して通っており、良かったと思う。

⑤ 沿道企業、店舗への影響

【沿道企業等の声 から】

■段差が無くなったため、車両出入りの際に荷崩れ、破損等が無くなった。

■会社のトラック、その他の車両の出入りが大変楽になった。

■早朝の冬場は雪で歩道を歩けずに車道を歩いて通勤していたが、歩道が広がり、無散水消雪歩道となってからは、大変歩道が歩きやすくなり、車道を歩くことも無く安全に通勤できるようになった。

『前囲横断歩道橋を考える懇談会』開催 ～古館自歩道整備後の状況について意見交換を実施しました～

事業完了後、約1年が経過したことから、6月30日(火)に改良前の問題の改善状況や更なる追加対策の必要性等について意見交換を行いました。

前囲横断歩道橋を考える懇談会

湯沢地区交通安全協会前森支部副支部長
湯沢東小学校 校長
湯沢東小学校PTA副会長
湯沢東小学校PTA校外指導部長
外前森第二町内会長
桜通り町内会長
古館町内会長
地区交通安全会長(外前森第三町内)
湯沢警察署交通規制係長
湯沢河川国道事務所長
湯沢国道維持出張所長

【主な意見】

- : 前囲横断歩道橋を撤去したことにより、交差点部の見通しがよくなり**事故危険性が減った**と思う。
 - : 東赤土の歩道橋は国道横断部にも整備を要望していたので感謝しています。以前は国道横断部に歩道橋がなく学校の始業時間直前は、信号の変わり目直後に急いで国道を横断していたので車との接触の危険があり、ハラハラしていたが、横断歩道橋ができたので**車との接触の危険がなくなり安心**できています。
 - : 今回整備した古館地区先の杉沢地区は早朝登校前に歩道除雪してもらおうが、日中雪が降り積もると下校時は歩きづらくなるので**下校前も歩道除雪してほしい**。
- 回答: 杉沢地区は現在、歩道拡幅事業を進めております。**歩道融雪施設を整備する**予定としております。



懇談会の様子



連結した横断歩道橋